

報道関係者各位

令和3年(2021年)9月28日

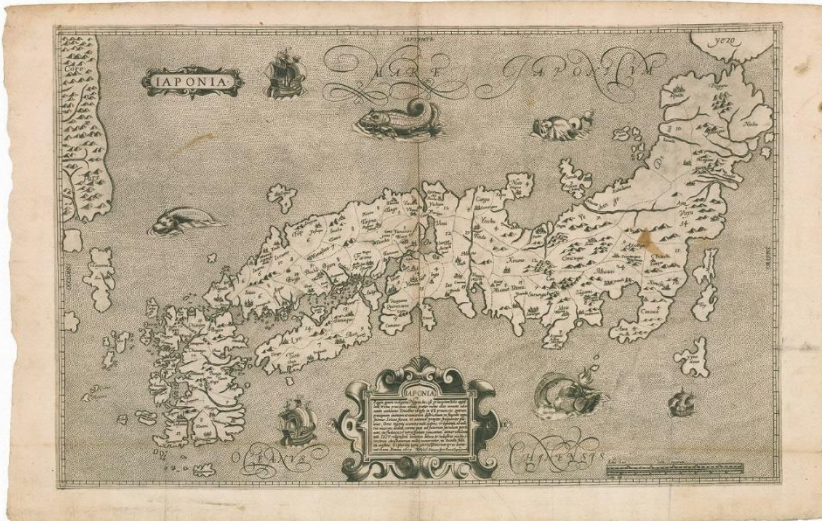
「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」世界文化遺産登録3周年記念展

遠ざかる「世界」、キリシタンが待ち望んだ「世界」

10月20日(水)から全4会場で開催! 2022年2月に東京会場での開催も決定

～古地図と潜伏キリシタンの信仰用具等約40点を展示～

長崎県(本庁:長崎県長崎市、知事:中村法道)は、ゼンリンミュージアムとのタイアップにより、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録されて3周年を迎えることを記念し、古地図・信仰用具等約40点を展示する記念展『遠ざかる「世界」、キリシタンが待ち望んだ「世界」』を10月20日(水)から長崎県内、福岡県内、東京都内の全4会場で開催します。尚、東京会場は、2022(令和4)年2月19日(土)～2月27日(日)の期間、Bunkamuraギャラリー(東京都渋谷区)で開催されます。



ブランクス/モレイラ「日本図」1617年 ゼンリンミュージアム蔵



お水瓶 平戸市生月島塚目集落伝来
平戸市生月町博物館・島の館蔵
画像提供:平戸市

本記念展では、第1章から第3章の構成で、大航海時代の古地図に描かれた日本の姿や、キリシタン大名とキリスト教の関わり、潜伏キリシタンの密かな祈りを物語る信仰用具などを中心に紹介します。

第1章「大航海時代とキリシタン大名」では、大航海時代を背景とした貿易と布教によって明確になっていく地図上の日本の姿が、禁教と鎖国によって再びおぼろげになっていく過程を当時の世界地図から読み解きます。第2章「遠ざかる世界と潜伏キリシタンの祈り」では、世界と隔絶した長崎のキリシタンが独自に育んだ伝統を、潜伏集落で禁教前から伝承された信仰用具から概観しつつ、様々な伝承から彼らが世界との接触を待ち望んでいたことが分かります。さらに、第3章「再び出会った世界と日本」では、250年に及んだ鎖国が解けてからの両者の再度の出会いを関連資料から解読していきます。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ】

長崎県東京事務所 皆良田(かいらだ)

TEL: 03-5212-9025 FAX: 03-5215-5131 E-mail: kairada@pref.nagasaki.lg.jp

長崎県世界遺産課 川口、伊藤 TEL: 095-894-3171 E-mail: s38040@pref.nagasaki.lg.jp



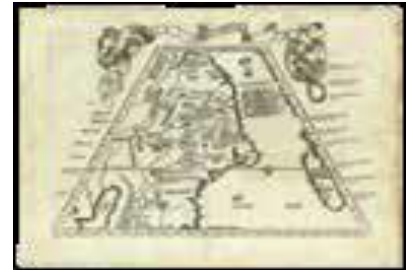
■展示会場

長崎会場	会期等	2021年10月20日(水)～2021年11月14日(日)※会期中無休【有料】 常設展観覧料 大人630円(500円)、小中高生310円(250円) ()内は前売および15名以上の団体料金。長崎県内の小・中学生無料 その他各種減免あり(詳しくはTEL095-818-8366まで)
	場 所	長崎歴史文化博物館2階 特集展示室(長崎県長崎市立山1丁目1番1号)
大村会場	会 期	2021年12月4日(土)～2021年12月24日(金)※月曜休館【無料】
	場 所	大村市歴史資料館 企画展示室 (長崎県大村市東本町481ミライオン内)
北九州会場	会期等	2022年1月5日(水)～2022年2月13日(日)※月曜休館【有料】 ミュージアム入館料 大人1,000円(800円) 保護者同伴の小中学生以下は無料 ()内は8名以上の団体および障がい者とその同伴の方1名の料金 団体料金の適用には事前予約が必要(詳しくはTEL093-592-9082まで)
	場 所	ゼンリンミュージアム 多目的展示室 (福岡県北九州市小倉北区室町1-1-1 リバーウォーク北九州14F)
東京会場	会 期	2022年2月19日(土)～2022年2月27日(日)※会期中無休【無料】
	場 所	Bunkamura ギャラリー(東京都渋谷区道玄坂2-24-1)

第1章 大航海時代とキリシタン大名

ポルトガル船の来航によって世界と日本は大きく近づきます。商人や宣教師がもたらす情報によって、「ジパング」の情報はヨーロッパへ伝えられ、精緻な地図も作られるようになります。

日本に伝わったキリスト教は、大村純忠らキリシタン大名に保護され全国に広まりました。



ポトレマイオス/フリース
「大東亜図」1522年
ゼンリンミュージアム蔵

第2章 遠ざかる世界と潜伏キリシタンの祈り

江戸幕府による禁教と海禁政策によりポルトガル船が追放されると、地図に描かれる日本の情報も乏しくなっていきます。宣教師も不在となる中で孤立した日本のキリシタンは、自分たちだけで信仰を継承することとなり独特の信仰形態が育まれました。



中国製
「ハンタマルヤ像
(マリア観音像)」17-18世紀
長崎市三重地区榎山集落伝来
長崎市海外歴史民俗資料館蔵

第3章 再び出会った世界と日本

幕末、2世紀ぶりに日本が開国すると、再び世界と日本は出会います。キリシタンも世界に例をみない孤立を経て宣教師と再会し、新たな信仰用具がもたらされました。

■留意事項

今後の新型コロナウイルス感染症の状況により、会期を変更する場合があります。最新の情報については、長崎県東京事務所(TEL03-5212-9025)または長崎県世界遺産課(TEL095-894-3171)にお問い合わせください。